

東京都のスポーツをめぐる現状

東京都の目標

2020年までに、都民のスポーツ実施率(週1回以上スポーツを実施する18歳以上の人の割合)70%を達成し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」を実現します。

ここでいうスポーツとは

ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけではなく、健康や遊び、楽しみを目的とした身体活動まで幅広く含むものとして捉えています。

スポーツをより身近なものとし、これまでスポーツに縁のなかった方にも気軽に楽しんでいただくため、スポーツの概念を幅広く捉えています。

スポーツ実施率に関する現状分析

東京都におけるスポーツ実施率の推移と目標値

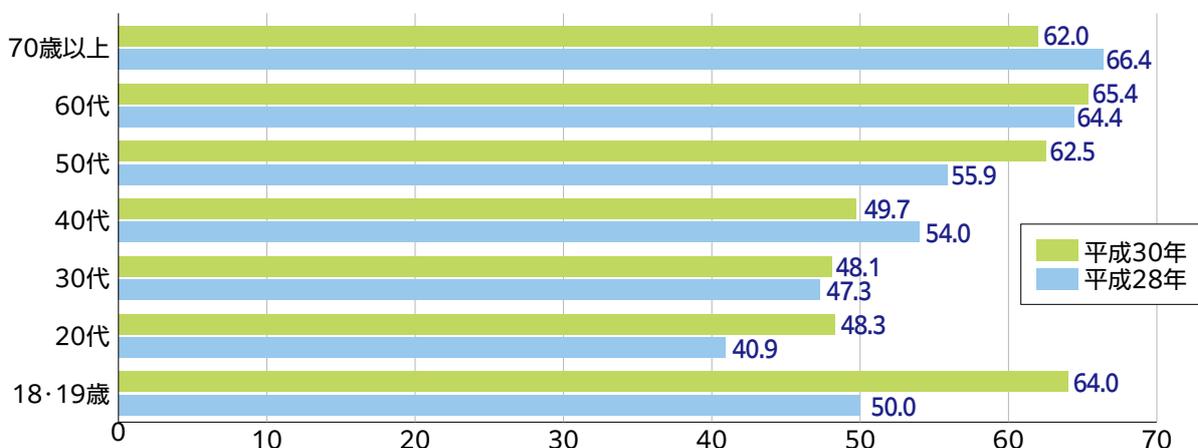
『「未来の東京」戦略ビジョン』2020年の目標はスポーツ実施率70%達成であり、2030年には世界最高水準を目指します。平成30(2018)年度調査では57.2%となっています。



出展:「未来の東京」戦略ビジョン

年代別スポーツ実施率(平成30(2018)年度)

20代～40代のスポーツ実施率は全体平均57.2%を下回り、40%台にとどまっている。



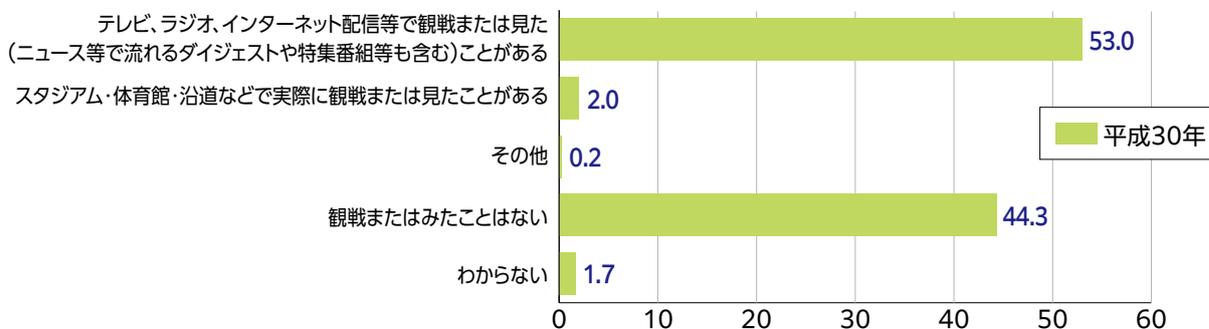
スポーツ・運動を実施した頻度が週1回に満たなかった理由(平成30(2018)年度)

20代～40代に多かった理由は、「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」、「機会がないから」、「好きでないから」など

近年全体よりも低いままだった20～40歳代(「働き盛り世代」)のスポーツ実施率を向上させるため、1日の大半の時間を過ごす企業に対するアプローチとして、平成27年度に「東京都スポーツ推進企業認定制度」を創設し、企業の取組を広く周知することで、普及を図っている。

障害者スポーツについて

障害者スポーツの観戦(平成30年度)



「スタジアム・体育館・浴道などで実際に観戦または見たことがある」人の割合は依然として低い

企業・団体の障害者スポーツ支援を促進する取組を企画・実施すること等により、企業への障害者スポーツ観戦の流れを作っていく。

事業概要

「東京都スポーツ推進企業認定制度」の目的

企業のスポーツに対する社内外への積極的な取組を認定し、広く都民に周知することで、働き盛り世代のスポーツ活動を推進するとともに、スポーツに対する社会的気運の醸成を図る。

「東京都スポーツ推進企業」とは

社員のスポーツ活動を推進する取組や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等のうち東京都が認定したもの

認定された企業には

- 認定証・認定マークの交付
- 都ホームページ等において社名等の公表
- マスメディア等に積極的に取組内容の情報提供 等

「東京都スポーツ推進モデル企業」とは

認定した企業のうち、特に社会的な影響や波及効果の大きい取組をしている企業等(学識経験者を含む選定委員会を経て、東京都が決定)

選定された企業には

- 表彰
- 都ホームページや都スポーツイベントで取組内容の公表 等

「東京都スポーツ推進殿堂入り企業」とは

累計5回「東京都スポーツ推進モデル企業」に選定された企業等

募集対象

都内に本社、事業所を置く企業、社団法人、財団法人、NPO法人等

認定期間

1年間(更新可)

スケジュール(令和元(2019)年度)

令和元年 7月22日～10月21日	東京都スポーツ推進企業募集
11月	東京都スポーツ推進企業認定
令和2年 1月	東京都スポーツ推進モデル企業候補選定
3月	東京都スポーツ推進モデル企業決定
	東京都スポーツ推進モデル企業表彰式(中止)

令和元年度東京都スポーツ推進企業認定数	374社
令和元年度東京都スポーツ推進モデル企業数	うち11社
東京都スポーツ推進殿堂入り企業数	うち1社

関連ホームページ

スポーツTOKYOインフォメーション「東京都スポーツ推進企業認定制度ホームページ」

<https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/company/>